

産学連携によるSDGsサービスUXデザイン



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科 メディア文化コース 講師

山本 暢 Yamamoto Noburu

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](https://www.mymizu.co/)

キーワード : UXデザイン・UIデザイン・マーケティング・共創ビジネス・SDGs



研究の概要

SDGs 目標 6 : 安全な水とトイレを世界中に
SDGs 目標 14 : 海の豊かさを守ろう

一般社団法人 Social Innovation Japan

(<https://www.mymizu.co/>)

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

(<https://cleansui.com/>) 等との産学連携による UI

/ UX デザインの共創事例。

“給水を通して、サステナビリティに取り組む” サービス / スマートフォンアプリ「mymizu」のスマートフォンアプリのリデザインプロジェクトを実施。リデザインのプロセスとして、一般ユーザーや協賛企業様へのリサーチ、インタビューやフィールドワークを実施。アプリケーションのリデザインに留まらない、サービスの新機能、プロモーションプラン等、ユーザー参加型のサービス特性を活かしたライフスタイルに波及する UX デザインとリデザイン案の提案をおこなった。

①リサーチ

Social Innovation Japan

SOCIAL INNOVATION JAPAN

vision

誰でも良いことに取り
組める社会を目指す。
一人一人のアクション
を通して世界を変えて
いく。

mymizu



アプリ概要

ペットボトルの利用削減をミッションにし、給水スポットを探して利用できるプラットフォーム。
給水スポットを追加できたり水分補給を記録できる。

ユーザー想定

20 代後半～40 代前半の男女

- マイボトル利用者
- サイクリングする方
- 節約したい人
- 水を補充したい人

仮課題

- 給水を躊躇してしまいそう
- 水に対する個人の感覚の違いがある
- 給水スポットの場所や受け取り方に違いがありそう

②インタビュー

Key word

Social Innovation Japan さんにインタビューを終えて大切な言葉、重要だと考えた言葉をキーワードとしてピックアップ。

#共創型 #ポジティブに未来を一緒に作る #楽しむ
#給水が当たり前の世界 #一人一人のマインドセットを変える
#続けるモチベーション #1番のアセットはブランド

意識したこと

サービスや給水パートナー、経験といったようにジャンル分けして質問を考えたこと。
インタビューでは質問の流れが過去のことから現在、未来となるように意識した。また、当日は時間配分に気をつけて省略などをした。

Interview

サービス

サービス立ち上げの際に重要視していたことはありますか？

- A. 共創型プラットフォームにすること。
1. ユーザーが給水スポットを登録
2. 加盟店 2000 店舗 自動的にパートナー登録

ユーザー層、利用者について
教えてください。

A. 利用者は主に日本の方が 9 割。
20代～30代前半が多く女性の方が多い。

課題

現在感じている課題はありますか？

A. シーズンによってユーザーが減ったり増えたりすること。
冬になると利用度が下がってしまう。
また、利用者の層をランナーやサイクリングといったスポーツを好んでいる人を増やしたい。

今後の展望

今後期待することやビジョンはありますか？

A. mymizu のビジョンでもある給水で世界を変えること。
ペットボトルからサステナビリティを始めて、人々のマインドセットを変えたい。
楽しみながら続けるために、コピーや UI/UX で楽しみや人々を巻き込んで盛り上げていきたい。

③制作

UI/UX



カラーガイド
デザイン案、コンセプトが決定次第変更予定。



画面練習
figma を使用しながら UI を学んでいく。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【実学へのつながり】

実際に市場に存在するサービスを用いての UX デザインプロジェクトを経験することでの実学レベルの向上。

【産業界へのアピールポイント】

大学、サービス提供主体、協賛企業等との共創プロジェクトの実現。

教育機関ならではの多様なフィールドワークの実例。